

食品・農林水産分野でご活躍のみなさまへ

参加無料

エム・アール・アイ リサーチアソシエーツ 株式会社による公開講座 ビッグデータを用いたマーケティング戦略

(日時) 12/14 (金) 12:40~17:30

(場所) 桐生キャンパス 総合研究棟502教室

(荒牧キャンパス教育学部 C棟201教室にて遠隔講義を実施します。)

◆講義概要

リーマンショック、そして大震災を経て経済が停滞し激しく変遷する環境下で、人々の意識や価値観、暮らしにも、新しい様相が生まれてきました。

生活者の意識構造が複雑化し、商品やサービスの多様性が求められる中で、技術革新が進みAIやビッグデータの活用技術が急激に進化を遂げ、データ利活用によるマーケティングに一層期待が高まっています。

本講座では、データ利活用のトレンドを見据えながら、株式会社三菱総合研究所が提供する、生活者市場予測システム※(Market Intelligence & Forecast 通称 mif) を利用し、生活者変化の潮流とビジネスチャンスを捕捉するためのマーケティング手法について学習します。

※生活者市場予測システムは、8年間×3万人2000問からなるアンケートデータと、100万件からなるコミュニティ発言データを蓄積したハイブリッドなリサーチシステム。ターゲットとする生活者の「意識」「行動」を的確に把握し、精度の高い新事業、新商品開発が策定できる。

講義ではパソコンを使用しますので、パソコンをご持参ください。
なお、講義室の収容人数に限りがあるため、受講は先着順といたします。
受講をご希望の方は名前、勤務先、住所、電話番号、メールアドレスを記入の上、以下のメールアドレスにご連絡下さい

【お問合せ】

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町 4 - 2

国立大学法人群馬大学総務部企画評価課

Tel:027-220-7633

E-mail:suuri-shokukenkou@jimu.gunma-u.ac.jp

お申込みは
こちらから



裏面に講義の詳細があります



◆ ビックデータを用いたマーケティング戦略I (12:40-14:10) マーケティング分野におけるデータ分析のトレンド

(講師)

佐野 紳也 先生

エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社 / 三菱総合研究所 主席研究部長

専門は、情報通信、社会変化、マーケティング。生活者・消費者行動分析を中心としたリサーチ、コンサルティングに従事。特に情報通信業界で豊富な経験を有す。2011年より「生活者市場予測システム(mif)」の開発を担当。

主な著書に、「3万人調査で読み解く日本の生活者市場—ニューノーマルがわかる88のポイント」(共著、日本経済新聞出版社)、「コンピューター」(共著、日本経済新聞社)、「質的選択分析—理論と応用」(三菱経済研究所)、「これからの人材の条件：企業が求める技能、産業に役立つ能力はこう変わる」(共著、日本実業出版) など。



◆ ビックデータを用いたマーケティング戦略II (14:20-15:50) 生活者市場予測システム/アンケートデータベースを利用した生活者 分析法

(講師)

橋本 友範 先生

エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社 / mif事業チーム チームリーダー

ベンチャー企業での営業・マーケティング、マーケティングリサーチ会社にて、インターネットを利用した定量調査などの業務経験を経て、生活者市場予測システム(mif)サービス運営に従事。



◆ ビックデータを用いたマーケティング戦略III (16:00-17:30) 生活者市場予測システム/MROC (Market Research Online Community)発言データを活用した分析事例

(講師)

松下 淳子 先生

エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社 / mif事業チーム

ベマーケティングリサーチ会社にて、主に定性調査業務を経て、生活者市場予測システム(mif)サービス運営に従事